

令和元年度 富山県環境審議会 野生生物専門部会 議事録

- 1 日 時 令和元年 10 月 16 日（水） 13:30～15:00
- 2 場 所 富山県民会館 704 号室
- 3 議 事（報告事項）

（1） 特定鳥獣管理計画の進捗状況について

（部会長代理）

それでは、議事に入ります。特定鳥獣管理計画の進捗状況についてご質問、ご提言はありますか。

（委員）

昨年度、ツキノワグマの計画数は114頭、実際の捕獲数は32頭となっているが、理由はあるか。

（事務局）

昨年度については、ブナ、ミズナラ等が両方とも比較的実なりがよかったため、捕獲数が少なかったという実情があります。

（委員）

指定管理鳥獣捕獲等事業と、捕獲専門チームについて、具体的に説明してほしい。

（事務局）

指定管理鳥獣捕獲等事業については、市町村のご協力を得て、ある程度地域を決めて活動をしており、現在、富山市、黒部市、砺波市、南砺市、高岡市の5地域で実施しています。捕獲専門チームは、猟友会の会員の方々から組織されており、とくに若い方で、研修を受けていただいた方を中心に組織しています。

（委員）

イノシシについて、農林業被害の現状はどうなっているのか。今後、駆除を一層進めてほしい。

(事務局)

イノシシの被害額については、平成29年度まで増加してきましたが、平成30年度に減少に転じました。理由としては、捕獲のほか、農家の方々が電気柵等の対応をされていることによるものと考えています。

捕獲の強化については、豚コレラの関係もあり、県としましても、捕獲専門チームの数を増やしたり、有害捕獲では、おりの数を増加するなど、対応をしています。

(2) 豚コレラをめぐる県内の状況等について

(事務局)

本県では、今年の7月30日に、富山市内の死亡イノシシから豚コレラが確認されました。県では、これまで、豚コレラ緊急対策事業を実施しており、①防疫体制の強化、②検査体制の強化、③野生イノシシの捕獲強化に取り組んでいます。また、拡散防止を図るため、経口ワクチンの散布も並行して実施しています。

(3) 令和元年度 ツキノワグマ対策の取組み等について

(事務局)

今年は、ブナ、ミズナラの実なりが非常に悪い年で、大量出没のあった平成18年及び平成22年に匹敵するほど実なりが悪い年です。そのような状況の中、県としましては、野生動物被害防止対策会議の開催、県民へのツキノワグマ出没情報の提供、人身被害防止のための警戒システムの構築、捕獲体制の強化等を実施しています。

以上